

テムズウォーター・ユーティリティーズ・ファイナンスが発行する 「グリーンボンド」への投資について

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、テムズウォーター・ユーティリティーズ・ファイナンスが発行するグリーンボンドに57百万米ドル（約60億円）を投資しましたので、お知らせします。

本債券は、第三者認定機関である DNV GL 社（注1）よりセカンドパーティ・オピニオンを取得し、国際資本市場協会（ICMA: International Capital Market Association）が公表する「グリーンボンド原則 2018（GBP）」の基準を満たす発行に該当します。

当社は、「ESG投融資方針」（注2）に則り、資産運用業務においては、国連責任投資原則（PRI）への署名などを通じて、ESGの観点を投融資の意思決定に組み込むことを推進しています。引き続き、ESG投融資を通じて、持続可能な社会の実現に貢献する資産運用を行なってまいります。

【本債券の概要】

発行体	テムズウォーター・ユーティリティーズ・ファイナンス （ロンドンに事業基盤を持つ英国最大の水道事業者である テムズウォーターの資金調達機関）
社債の発行・購入額	57百万米ドル（約60億円）
資金使途	・水処理ネットワーク（上下水処理場、上下水道網）の増強 ・再生可能エネルギーへの取り組み
払込期日	2020年11月12日
償還期限	2030年11月12日（10年）
対応するSDGs目標	

（注1）ノルウェー・オスロに本部を置く1864年設立の自主独立財団。世界100ヶ国以上、約16,000人のスタッフにより第三者認証機関、船級協会、技術アドバイザー等のサービスを提供

（注2）2020年5月22日付ニュースリリース「ESG投融資方針の公表について」
https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/news/release/2020/pdf/20200522_05.pdf

以上